

第6期(平成23年3月期)  
決算説明資料

平成23年6月10日



阪神高速道路株式会社

# 目次

---

1. 平成23年3月期の連結業績	.....	2
2. 平成24年3月期の業績見通し	.....	12
3. 阪神高速グループの概要	.....	15

---

# 1. 平成23年3月期の連結業績

## 当期連結決算の概要(1)

当社グループの当期の連結業績は、営業収益 **2,507億円**(前年同期比+725億円)、営業利益 **34億円**(前年同期比▲9億円)、経常利益 **45億円**(前年同期比▲7億円)、当期純利益 **43億円**(前年同期比+13億円)となりました。  
事業別の業績等の概要は、次のとおりです。

### (1) 高速道路事業

- ◆ 阪神高速道路の一日当たり平均通行台数は、約87万台(前年同期比 1.7%増)と増加傾向となったことなどにより、料金収入は1,619億円(前年同期比1.9%増)
- ◆ 道路資産賃借料は1,160億円(前年同期比2.1%増)
- ◆ 機構への債務引き渡しに伴う道路資産完成高及び道路資産完成原価は新規路線の開通に係る機構引渡し額の増加等により740億円(前年同期比955.2%増)
- ◆ この結果、高速道路事業において  
営業収益は2,366億円(前年同期比42.0%増)  
営業費用は2,336億円(前年同期比43.5%増)  
営業利益は30億円(前年同期比20.6%減)となりました。

## 当期連結決算の概要(2)

### (2) 受託事業

- ◆ 京都市道高速道路2号線に係る工事をはじめとして、国や地方公共団体等の委託に基づく道路の新設、改築、維持、修繕等の事業を受託したことにより、  
営業収益は111億円(前年同期比19.0%増)  
営業費用は111億円(前年同期比19.4%増)  
この結果、営業利益は44百万円(前年同期比38.0%減)となりました。

### (3) その他の事業

- ◆ 休憩施設の運営、駐車場施設の運営、大阪港咲洲トンネル等の道路管理代行事業等を展開したことにより、  
営業収益は31億円(前年同期比45.2%増)  
営業費用は28億円(前年同期比65.1%増)  
この結果、営業利益は3億円(前年同期比29.6%減)となりました。

# セグメント別の連結業績

単位: 億円〔単位未満切捨て〕

高速道路事業	営業収益	営業費用	営業利益
■ 高速道路の新設、改築、維持、修繕、災害復旧その他の管理等	(料金収入) <b>1,619</b> (前年同期比 +30)  (道路資産完成高) <b>740</b> (前年同期比 +670)  (その他) <b>6</b> (前年同期比 ▲ 0)	(道路資産賃借料) <b>1,160</b> (前年同期比 +23)  (道路資産完成原価) <b>740</b> (前年同期比 +670)  (管理費用) <b>435</b> (前年同期比 +14)	<b>30</b> (前年同期比 ▲ 7)
<b>高速道路事業 計</b>	<b>2,366</b> (前年同期比 +699)	<b>2,336</b> (前年同期比 +707)	<b>30</b> (前年同期比 ▲ 7)
受託事業	営業収益	営業費用	営業利益
■ 国、地方公共団体等の委託に基づく道路の新設、改築、維持、修繕等及びその他委託に基づく事業等	<b>111</b> (前年同期比 +17)	<b>111</b> (前年同期比 +18)	<b>0</b> (前年同期比 ▲ 0)
その他の事業	営業収益	営業費用	営業利益
■ 休憩施設の運営、駐車場施設の運営、道路管理の代行等に係る事業	<b>31</b> (前年同期比 +9)	<b>28</b> (前年同期比 +11)	<b>3</b> (前年同期比 ▲ 1)

# 高速道路事業

単位: 億円〔単位未満切捨て〕

区 分		22年3月期	23年3月期	増減
営業収益	料金収入(※)	1,588	1,619	+30
	道路資産完成高	70	740	+670
	その他	7	6	▲0
		1,666	2,366	+699
営業費用	道路資産賃借料	1,137	1,160	+23
	道路資産完成原価	70	740	+670
	管理費用	420	435	+14
		1,628	2,336	+707
高速道路事業 営業利益		38	30	▲7

## 主な増減内容

### ●営業収益

- ・通行台数は増加傾向にあり、一日当たり平均通行台数は、約87万台(前年同期比1.7%増)
- ・料金収入は、通行台数の増加等により、1,619億円(前年同期比30億円増)
- ・道路資産完成高は、新規路線の開通に係る機構引渡し額の増加等により、740億円(前年同期比670億円増)

### ●営業費用

- ・協定に基づく道路資産賃借料1,160億円(前年同期比23億円増)

(※) 22年3月期の「料金収入」には社会実験減収補填金(46億円)を含めています。

# 関連事業

単位: 億円〔単位未満切捨て〕

区 分		22年3月期	23年3月期	増減
受託事業	営業収益	93	111	+17
	営業費用	93	111	+18
	営業利益	0	0	▲ 0
その他の事業	営業収益	21	31	+9
	営業費用	17	28	+11
	営業利益	4	3	▲ 1
関連事業 営業利益		5	3	▲ 1

## 主な増減内容

### ●受託事業

工事進捗率の増等により、  
 営業収益は前年同期比17億円の増となり、  
 営業利益は前年同期比0.2億円の減

### ●その他の事業

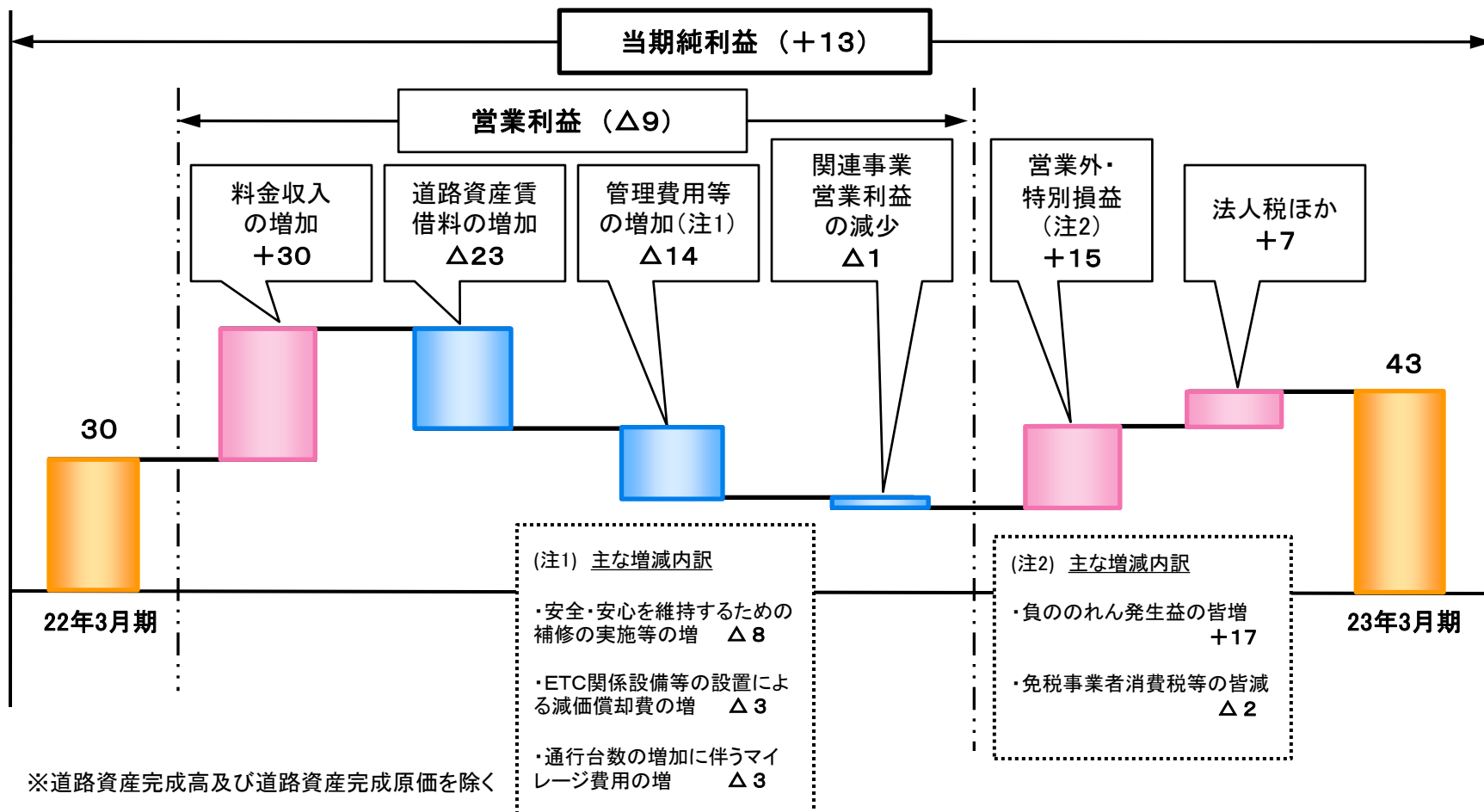
道路管理代行事業の受託期間の  
 平年度化等により、  
 営業収益は前年同期比9億円の増となり、  
 営業利益は前年同期比1億円の減



# 連結当期純利益増減要因

◆前年同期比 13億円増加  
(22年3月期:30億円⇒23年3月期:43億円)

単位:億円[単位未満切捨て]



# 当期連結財務諸表の概要

単位：億円〔単位未満切捨て〕

## 連結損益計算書

区分	22年3月期	23年3月期	増減
営業収益	1,782	2,507	+725
営業費用	1,738	2,473	+735
営業利益	43	34	▲ 9
営業外収益	10	12	+1
営業外費用	2	1	▲ 0
経常利益	52	45	▲ 7
特別利益	4	21	+16
特別損失	4	7	+3
税引前当期純利益	52	59	+6
法人税等	20	16	▲ 4
少数株主利益(▲損失)	1	▲ 0	▲ 2
当期純利益	30	43	+13

## 連結貸借対照表

区分	22年3月期	23年3月期	増減
総資産	3,172	2,999	▲ 172
流動資産	2,643	2,497	▲ 146
(うち仕掛道路資産)	1,823	1,598	▲ 225
固定資産	528	502	▲ 25
総負債	2,828	2,630	▲ 197
流動負債	773	723	▲ 50
固定負債	2,054	1,907	▲ 146
純資産	343	368	+24
株主資本	324	368	+43
資本金	100	100	-
資本剰余金	100	100	-
利益剰余金	124	168	+43
その他の包括利益累計額	0	0	+0
少数株主持分	18	-	▲ 18

# 連結キャッシュ・フロー計算書

単位：億円〔単位未満切捨て〕

区分	22年3月期	23年3月期	増減	主な増減要因
営業活動によるCF	▲ 256	495	+752	機構への完成道路資産の引渡が増加したこと等により、前年同期より752億円増加し、495億円となった。
投資活動によるCF	▲ 82	▲ 37	+44	固定資産の取得による支出が減少したこと等により、前年同期より44億円マイナス幅が縮小し、▲37億円となった。
財務活動によるCF	421	▲ 393	▲ 814	機構への債務引渡が増加したこと等により、前年同期より814億円減少し、▲393億円となった。
現金及び現金同等物の 期末残高	379	444	+64	

## 高速道路会社のキャッシュ・フロー計算書の特殊性

- 高速道路への建設投資は、高速道路会社にとって機構に対する「商品」のため、投資額は『営業活動CF』のマイナスとして、これに見合う資金は借入調達するため『財務活動CF』のプラスとして整理する。
- 高速道路が開通しこれを機構に引き渡す際に、道路資産完成高は『営業活動CF』のプラスとして、借入金の引渡額を『財務活動CF』のマイナスとして整理する。
- 従って、高速道路の完成高が投資額を上回る当連結会計年度の『営業活動CF』はプラスとなる。

# 当期個別財務諸表の概要

単位：億円〔単位未満切捨て〕

損益計算書			
区分	22年3月期	23年3月期	増減
営業収益	1,765	2,485	+719
高速道路事業	1,659	2,359	+700
関連事業	106	125	+18
営業費用	1,732	2,459	+726
高速道路事業	1,630	2,336	+706
関連事業	102	122	+19
営業利益	32	25	▲ 6
高速道路事業	28	23	▲ 5
関連事業	3	2	▲ 0
営業外収益	4	7	+2
営業外費用	1	0	▲ 0
経常利益	35	32	▲ 3
特別利益	2	3	+0
特別損失	3	7	+3
税引前当期純利益	33	27	▲ 5
法人税等	14	10	▲ 4
当期純利益	18	17	▲ 1

貸借対照表			
区分	22年3月期	23年3月期	増減
総資産	3,097	2,909	▲ 187
流動資産	2,584	2,439	▲ 145
固定資産	512	470	▲ 42
総負債	2,797	2,592	▲ 204
流動負債	770	711	▲ 59
固定負債	2,026	1,881	▲ 145
(うち有利子負債)	1,398	1,071	▲ 326
純資産	299	316	+17
資本金	100	100	-
資本剰余金	100	100	-
利益剰余金	99	116	+17
自己資本比率	9.7%	10.9%	+1.2%

## 2. 平成24年3月期の業績見通し

# 平成24年3月期 連結業績の見通し

単位: 億円[単位未満切捨て]

区 分		23年3月期 実績	24年3月期 見通し	増減
営業 収益	高速道路事業	2,366	2,208	▲ 158
	料金収入	1,619	1,583	▲ 36
	道路資産完成高	740	621	▲ 119
	その他	6	4	▲ 2
	関連事業	143	156	+13
		2,507	2,365	▲ 142
営業 費用	高速道路事業	2,336	2,187	▲ 148
	道路資産賃借料	1,160	1,061	▲ 98
	道路資産完成原価	740	621	▲ 119
	管理費用	435	504	+69
	関連事業	139	152	+12
		2,473	2,339	▲ 133
営業利益		34	25	▲ 8
	高速道路事業	30	21	▲ 9
	関連事業	3	4	+0
経常利益		45	13	▲ 31
当期純利益		43	8	▲ 35

## 連結業績の見通し

当期純利益は、親会社の利益1億円に連結子会社等の利益7億円を加えた8億円(前年実績比35億円減)となる見通しです。

なお、連結業績の見通しのうち、親会社の見通し額は国土交通大臣から認可を受けた平成23年度事業計画に基づいています。

(注) 平成24年3月期の業績見通しには、不確定な要因を含んでおり、将来の業績等を保証するものではありません。実際の業績等については、様々な要因により変化するものであることをご承知おき下さい。

# 平成24年3月期 個別業績の見通し

単位: 億円〔単位未満切捨て〕

区 分		23年3月期 実績	24年3月期 見通し	増減
営業 収益	高速道路事業	2,359	2,204	▲ 155
	料金収入	1,619	1,583	▲ 36
	道路資産完成高	740	621	▲ 119
	関連事業	125	116	▲ 8
		2,485	2,320	▲ 164
営業 費用	高速道路事業	2,336	2,192	▲ 144
	道路資産賃借料	1,160	1,061	▲ 98
	道路資産完成原価	740	621	▲ 119
	管理費用	435	509	+73
	関連事業	122	114	▲ 8
		2,459	2,307	▲ 152
営業 利益	高速道路事業	23	11	▲ 11
	関連事業	2	1	▲ 0
		25	13	▲ 11
経常利益		32	1	▲ 30
当期純利益		17	1	▲ 16

## 個別業績の見通し

営業収益は、  
 2,320億円(前年実績比164億円減)  
 営業費用は、  
 2,307億円(前年実績比152億円減)  
 営業利益は、  
 13億円(前年実績比11億円減)  
 経常利益は、  
 1億円(前年実績比30億円減)  
 当期純利益は、  
 1億円(前年実績比16億円減)  
 となる見通しです。

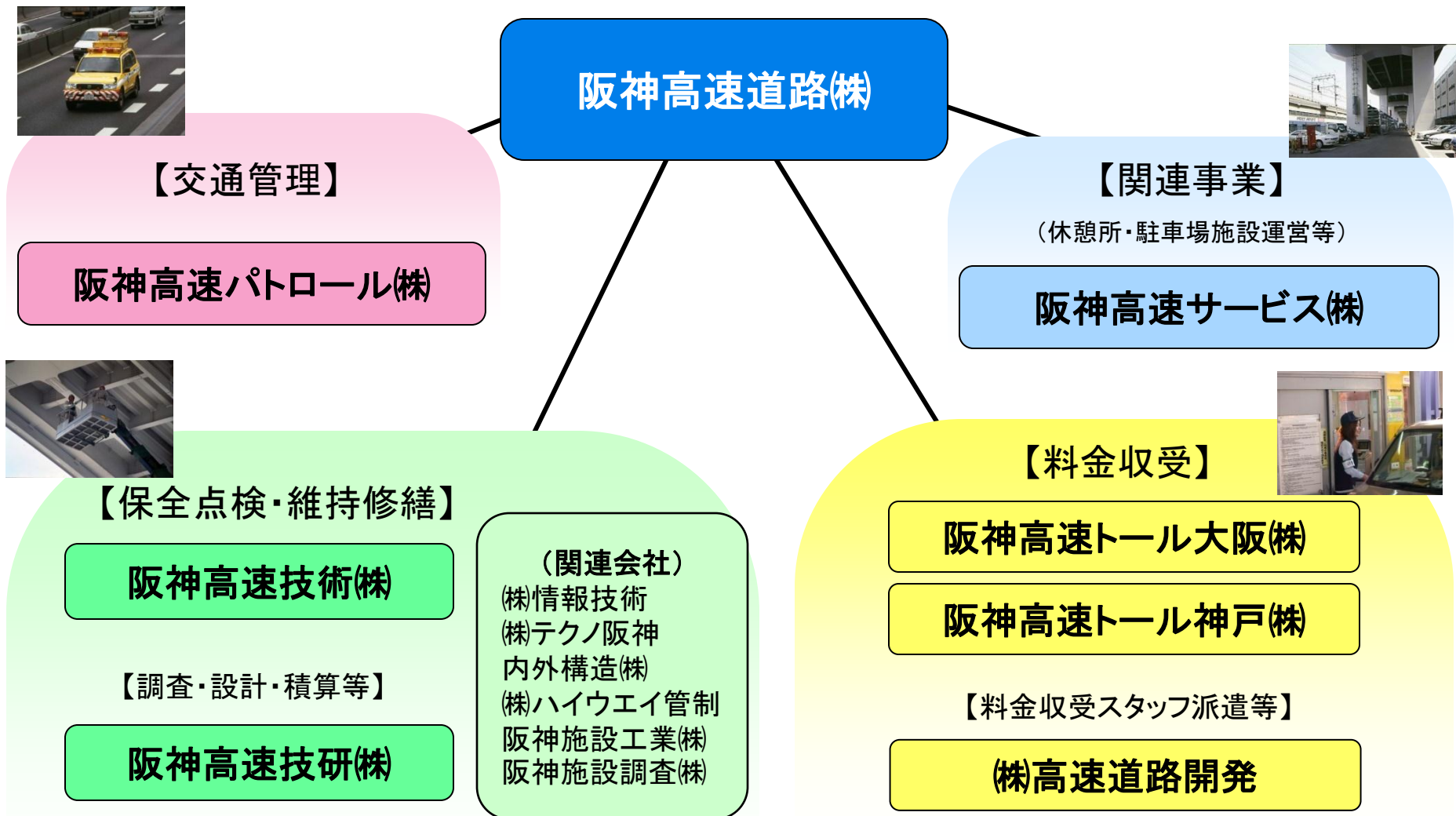
なお、見通し額は国土交通大臣から認可を受けた平成23年度事業計画に基づいています。

(注) 平成24年3月期の業績見通しには、不確定な要因を含んでおり、将来の業績等を保証するものではありません。実際の業績等については、様々な要因により変化するものであることをご承知おき下さい。

### 3. 阪神高速グループの概要



# グループ経営体制(全体イメージ)



# 関係会社の状況 ①

## 連結子会社 平成23年3月31日現在

名称	住所	資本金 (百万円)	主要な事業 の内容	議決権の 所有割合(%) (注)	関係内容
阪神高速サービス(株)	大阪市西区	40	高速道路事業 その他の事業	100	休憩施設及び駐車場施設の運営 並びに広報業務等
阪神高速技術(株)	大阪市中央区	80	高速道路事業	100	保全点検・維持修繕業務
阪神高速パトロール(株)	大阪市西区	10	高速道路事業	100	交通管理業務
阪神高速トール大阪(株)	大阪市西区	50	高速道路事業	100	料金收受業務(大阪地区)
阪神高速トール神戸(株)	神戸市中央区	50	高速道路事業	100	料金收受業務(兵庫地区)
阪神高速技研(株)	大阪市西区	30	高速道路事業	100 (48.9)	調査・設計・積算等業務
(株)高速道路開発	大阪市西区	50	高速道路事業	100 (100)	料金收受スタッフ派遣等

(注) 議決権の所有割合の( )内は、間接所有割合で内数となっています。

## 関係会社の状況 ②

### 持分法適用関連会社 平成23年3月31日現在

名称	住所	資本金 (百万円)	主要な事業 の内容	議決権の 所有割合(%) (注)	関係内容
(株)情報技術	大阪市西区	20	高速道路事業	11.8 (11.8)	システムに係る運用管理等業務
(株)テクノ阪神	大阪市西区	20	高速道路事業	13.4 (13.4)	機械設備に係る保全点検・維持修繕業務
内外構造(株)	大阪府中央区	21	高速道路事業	13.8 (13.8)	構造物に係る保全点検業務
(株)ハイウェイ管制	大阪市西区	40	高速道路事業	11.3 (11.3)	電気通信設備に係る保全点検・維持修繕業務(大阪地区)
阪神施設工業(株)	大阪市港区	36	高速道路事業	4.7 (4.7)	電気通信設備に係る保全点検・維持修繕業務(兵庫地区)
阪神施設調査(株)	大阪市西区	20	高速道路事業	20.3 (20.3)	建物に係る保全点検・維持修繕業務

(注) 議決権の所有割合の( )内は、間接所有割合で内数となっています。

# 主なトピックス

## (1)より利用しやすく

- ①神戸山手線(神戸長田～湊川JCT)及び京都線(鴨川東～上鳥羽)の開通
- ②建設中路線の整備促進

## (2)安全・安心・快適の追求

- ①14号松原線及び3号神戸線(京橋～摩耶)のフレッシュアップ工事
- ②ドライバー安全走行支援プロジェクト『阪高SAFETYナビ』の構築
- ③すべてのパーキングエリアのリニューアル完了
- ④東日本大震災を踏まえた対応

## (3)関連事業・新規事業の展開

- ①海外コンサルタント業務の受注
- ②ETC活用事業の取組み

## (4)地域・社会とともに

- ①震災資料保管庫の一般公開開始

# (1)より利用しやすく

## ①神戸山手線(神戸長田～湊川JCT)及び 京都線(鴨川東～上鳥羽)の開通

### ○神戸山手線(神戸長田～湊川JCT)

1.8km・H22年12月

- \* 神戸山手線と神戸線(大阪方面)が直結しました。
- \* 営業中鉄道直下の難工事でした。また、トンネル換気設備のインバータ制御等環境保全に配慮しました。



神戸山手線 開通式(H22.12.18)

### ○京都線(鴨川東～上鳥羽 :油小路線の残区間)

1.9km・H23年3月

- \* 京都東部(山科)方面と京都南部や大阪方面が直結しました。
- \* LED道路照明の全面採用(全国初)等環境保全に配慮するとともに、鉄道・一般道への影響を最小にする工法を採用しました。

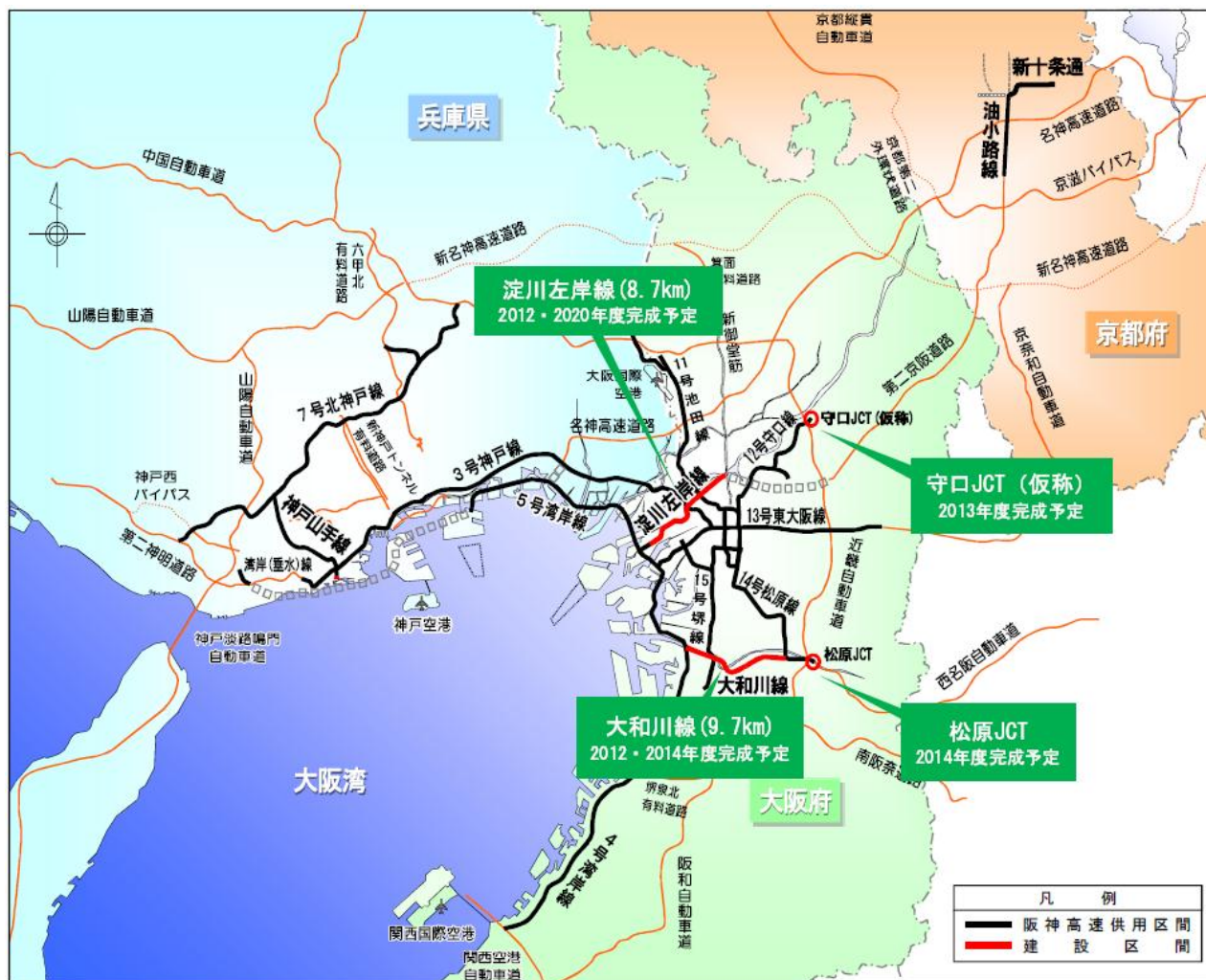


京都線 路線図



## ②建設中路線の整備促進

淀川左岸線・大和川線と守口ジャンクション(仮称)・松原ジャンクションの整備を進めています。



## (2)安全・安心・快適の追求

### ①14号松原線及び3号神戸線(京橋～摩耶)のフレッシュアップ工事



\* 老朽化や車両の大型化などに伴い、道路構造物の計画的な補修が必要となっており、当社では、お客さまへの影響が少ない『終日通行止め』による補修工事を実施しています。

\* 平成22年度は、14号松原線(全線 H22年10月)及び3号神戸線(京橋～摩耶 H22年11月)において、終日通行止めによるフレッシュアップ工事を実施しました。

#### 【主な工事内容】

カーブ区間における視線誘導標等の設置

道路案内標識・看板の取替

舗装補修(滑り止め舗装・PA誘導カラー舗装等の採用、段差補修) 他



14号松原線 工事状況(H22.10.19～10.27)



3号神戸線 工事状況(H22.11.9～11.17)



カーブ区間の視線誘導標設置



車線構成が明示された案内標識



京橋PA(東行)カラー舗装



## ②ドライバー安全走行支援プロジェクト『阪高SAFETYナビ』の構築

\* 第2次交通安全対策アクションプログラム(AP) (H22~24)では、第1次APで実施してきた施設面の対策だけでなく、ドライバーの安全走行を支援するソフト対策も充実することとしました。

\* WEBサイト上に『阪高SAFETYナビ』を構築し、ドライバー1人ひとりの安全運転レベルの診断、要注意地点における運転のポイント等を掲載しています。



阪高SAFETYナビキャンペーンサイト「HANKO Change Drive」



阪高SAFETYナビHP トップページ



要注意地点マップ トップページ

安全運転レベル診断 ページ



### ③すべてのパーキングエリア（PA）のリニューアル完了

\* 平成21年度に策定した第2次PA改善アクションプランに基づき、「きれい・あんしん」「やすらぎ」「ぬくもり」を提供するため、「ほっと処」をキーワードとして、各PAの改修を実施してきました。

\* 平成22年度は、

・泉大津PA（海側：H22年4月、陸側：H23年1月）

・京橋PA（東行：H22年7月）

のリニューアルを実施し、全PA（15カ所）の改修を終えました。

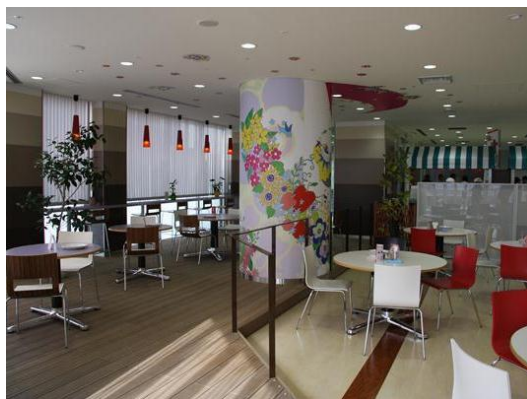
\* 今後も、PAクルーのホスピタリティ向上等により、お客さま満足（CS）の更なる向上を目指します。



泉大津PA（陸側） ウッドデッキ



泉大津PA（海側） 壁面緑化



泉大津PA（陸側） レストラン内部



京橋PA（東側） 外観

## ④東日本大震災を踏まえた対応

- \* 被災地支援策として、これまで緊急通行車両の通行料無料化措置、義援金による寄付、緊急支援物資提供等を行ってきています。
- \* 津波発生時の避難誘導や道路管理の在り方の見直しなど防災対策の一層の強化を図るため、検討会議を設置して検討を進めており、今後、必要な対策を速やかに実施します。



東日本大震災における津波による道路被害

### (3) 関連事業・新規事業の展開

#### ① 海外コンサルタント業務の受注

\* 長年培ってきた高速道路事業者としての経験を活かし、当社初の海外事業としてバンコク高速道路の運営に係るコンサルタント業務を受注しました。

(H22年6月)



\* 続いて、エチオピア道路公社の橋梁維持に係るコンサルタント業務を受注しました。(H22年11月)





## ②ETC活用事業の取組み

### ○とくとくパーキング・奈良

\* 平城遷都1300年祭に際し、パーク&バスライドの利用を促進するため、奈良県と連携して、平城宮跡駐車場を利用したお客さまに観光情報を発信するとともに、第二阪奈道路で大阪方面に帰る場合には500円分のETCポイントを付与しました。



### ○発生土再生活活用事業

\* 大和川線建設工事で発生する土を再資源化し埋立事業に再生利用しています。その際、運搬車両管理だけでなく、建設汚泥のマニフェスト管理にもETCを利用しています。



## (4) 地域・社会とともに

### ① 震災資料保管庫の一般公開開始

- \* 阪神高速では、阪神淡路大震災での被災・復旧経験を風化させることなく後世に語り継ぐため、『震災資料保管庫』を開設し、被災した高速道路損傷構造物を展示しています。
- \* 震災発生後15年を機に、行政関係者や専門技術者だけでなく、一般の方々や子供たちにもわかりやすくご覧頂くためのリニューアルを行い、平成22年度より一般公開を開始しました。  
(毎月第1・3の日・水曜日)

見学案内・お申込みは下記ホームページまで  
<http://www.tech-center.or.jp/japanese/hokanko/>



震災資料保管庫 外観



エントランス部



展示状況 鉄筋コンクリート橋脚



見学風景

◆本資料には将来の予測や見通しに関する記述が含まれておりますが、こうした記述は将来の業績等を保証するものではありません。将来の業績等は経営環境の変化などにより、目標と異なる可能性があることにご留意下さい。

【お問い合わせ】



阪神高速道路株式会社 経理部財務課

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町4丁目1番3号

TEL: 06-6252-8121(代)

FAX: 06-6251-6930

URL: <http://www.hanshin-exp.co.jp>